

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化-「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する グループ名：Group A

担当教員名：三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行

学籍番号 1018167 氏名 宮嶋佑

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	7 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備 はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	16 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	14 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	77 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

どの項目も基準に準ずる点数であった。特に、評価項目の発表会、積極性・協調性、計画性については点数を追加した。発表会では、前回の中間発表での反省を踏まえ、質疑応答時間を増やした、結果として、聴講者の疑問もなく、アンケートでは多くの好評を得られた。積極性・協調性について、特に協調性に重きを置いた。グループリーダーとして、メンバーを誘導できるよう尽くした。例えば、定期的な進捗や意見が引き出せるよう場の雰囲気作りを行った。計画性については、私の担当区分である 3DCAD やその出力について、コロナウイルスの影響もあったが、遅れることもなく、ほぼ予定通りに自分の担当分については完了できたと思う。また、遅れが出そうな時は、他のグループと相談し、工房利用を譲ってもらうなど、計画が確実に進められるよう、また他に迷惑がかからない程度に手段を尽くし、柔軟に対応したと考える。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 伊藤 竜 :

3DCAD でのシミュレーションやロボットの制作作業などいつも良いタイミングで正確に早く仕事をこなしてくれるので、周りからとても重宝されていたと思います

サイン _____

コメンター氏名 藤内 悠 :

主に 2dCAD で設計したものを 3dCAD に書き起こしてもらう作業では曖昧な要望をしてしまった箇所を入念に確認し、またそれを作成して問題はないかといった検討・指摘をしていただき大きなミスの予防につながりました

サイン _____

コメンター氏名 木島 拓海 :

3DCAD でロボットの設計及び必要になった首の部品を素早く設計し、3D プリンタで出力してくれました。また、内部機構でも様々な優良な意見をもらい宮嶋くんはロボットの製作に大きく貢献してくれました

サイン _____

3. 担当教員によるコメント

教員サイン _____ 三上 貞芳

教員サイン _____ 鈴木 昭二

教員サイン 高橋信行